

原科幸彦 名誉教授が 環境アセスメント分野の最高賞 Rose-Hulman Award をアジア圏で初の受賞

原科幸彦名誉教授（現・千葉商科大学教授）が、環境アセスメント分野における世界の基幹学会である、国際影響評価学会（International Association for Impact Assessment、以下 IAIA）の Rose-Hulman Award を受賞しました。

同賞は IAIA が授与する一連の賞の中で最高賞と位置付けられるもので、授賞式は5月11～16日、カナダのカルガリーで開催された第33回世界大会（<http://iaia.org/conferences/iaia13/>）の場で行われました。世界120もの国と地域からの専門家が集まった大会において、同賞の荣誉ある受賞者である原科名誉教授は年次総会に招かれ、受賞記念スピーチでは専門家の倫理に関して述べ、深い感銘を与えました。この度の受賞はアジア圏初であり、アジア各国の専門家からも多くの祝辞が届き大変に喜んでいます。

IAIA の Rose-Hulman Award は、特定の領域における優れた業績とともに、国際的な貢献が特に評価されるもので、このたびの受賞は、国際協力銀行（JBIC）や国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）の環境社会配慮ガイドライン策定など、原科名誉教授の本学における長年にわたる功績が高く評価されたものです。

なかでも注目をされたのが、2010年に改訂された新 JICA の環境社会配慮ガイドラインです。原科名誉教授が座長として策定を指導した先進的な環境社会配慮の仕組みは世界銀行などで国際的に高く評価されています。外部専門家からなる審査諮問機関として助言委員会を設置したことは国際協力機関では初めてのことで、世界に対して、環境社会配慮のコンプライアンス確保のための新しい規範を示しました。この仕組みは、JICA の ODA（政府開発援助）事業が持続可能な社会づくりに貢献するものとして行われているという認識を世界に広めることにも役立っています。同名誉教授は、現在、このガイドライン遵守のために設けられた環境社会配慮異議申立制度の審査役も務めています。

原科名誉教授は社会工学者として環境問題を政策の問題として捉え、国や自治体等の公的機関で環境アセスメント制度の整備に尽力してきました。IAIA では日本人初の会長も務めており、本学では昨年3月まで、環境計画・政策について教育研究を行って参りました。また、本専攻の設置前は、理工学研究科の社会工学専攻で、計画理論の担当をしてきました。



ローズハーマン賞の授与 2013. 5. 14、
カナダ、カルガリー、IAIA 年次総会



受賞記念スピーチの様様。2013. 5. 14、カナダ、カルガリー、IAIA 年次総会



ローズハーマン賞のプレート

国際影響評価学会 (IAIA) の Rose-Hulman Award

Rose-Hulman Award は、国際影響評価学会 (IAIA) が授与する一連の賞の中で最高賞 (premium award) と位置づけられており、個別分野や個々の地域での業績に加えて国際的な貢献が総合的に評価され、原則として毎年1名だけが選ばれる。この賞の受賞者だけが、世界大会の時に開催される年次総会において受賞記念スピーチを行う栄誉が与えられる。歴代の受賞者は世界各国のアセスメント研究や実践における著名な専門家で、大学人、研究者、国連や世界銀行等の国際機関、あるいは国際 NGO のメンバーなどだが、これまでは欧米からの受賞者がほとんどで、アジアからの受賞者はいなかった。2013 年度の原科名誉教授の受賞がアジア圏からは初の受賞である。

これまでの受賞者

2013	Sachihiko Harashina	Japan	1998	Husain Sadar	Canada
2012	Peter Croal	Canada	1997	Charlie Wolf	USA
2011	Roel Slootweg	The Netherlands	1996	Barry Sadler	Canada
2010	Charlotte Bingham	USA	1995	Hussein Abaza	Kenya
2009	Larry Canter	USA	1994	Rabel Burdge	USA
	Bill Ross	Canada	1993	Robert Goodland	Canada
2008	Robert Sippe	Australia	1992	Brian Clark	UK
2007	Stephen Lintner	USA	1991	Canadian Environmental Assessment Review Council	Canada
2006	Robert Connelly	Canada	1990	Ecological Society of America	USA
2005	Alan Porter	USA	1989	Lynton Caldwell	USA
2004	Jean-Roger Mercier	France	1988	Gordon Beanlands	Canada
2003	Christopher Wood	UK	1987	Thomas Berger	Canada
2002	Shirley Conover	Canada	1986	Office of Technology Assessment, US Congress	USA
2001	Henk Becker	The Netherlands	1985	Team Coates	USA
2000	Norman Lee	UK			
1999	Richard Fuggle	South Africa			

◆国際影響評価学会 (IAIA: International Association for Impact Assessment)

120 以上の国・地域からの会員で構成される、アセスメント分野で最も権威ある国際学会で、各国の政府機関や、国際機関では世界銀行なども深くコミットしている。1980 年に設立され、本部はアメリカにある。活動はテクノロジーアセスメントなども含む広い意味でのアセスメントが対象だが、中心は環境アセスメント。世界各地で年次大会が開かれ、その都度、開催国の政府機関や企業、世界銀行などの国際機関が強力に支援している。国連でも特別に認定された組織なので、国際的な発言力も大きく、世界の環境保全のために大きな影響力を持っている。

<http://iaia.org/default.aspx>